



平成31年春号
〈ティーンズ〉

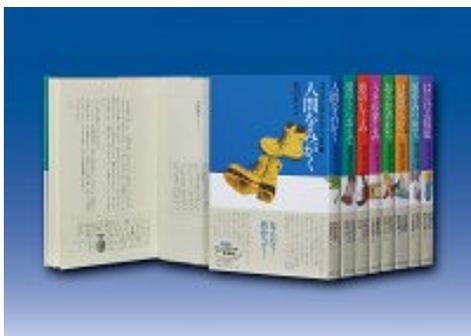
京都市久世ふれあいセンター
図書館 ☎931-0035

ご入学・ご進級おめでとうございます。

4月23日は「子ども読書の日」です。この機会に楽しい本に親しんで下さい。皆さんにぜひ読んでほしい本を紹介します。



〈久世中学校英語科小林悦子先生のおすすめ本〉



「中学生までに読んでおきたい哲学 2 悪のしくみ」
松田 哲夫 編 あすなろ書房

世の中、善に満ちあふれ皆幸せであればいいけれど、必ず「悪」はある。悪を失くすのではなく、悪と上手に付き合うために悪とは何なのか考えてみるのも、時には必要かと思えます。この本は文章も美しく、読みきり読み物としてもお薦めです。

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」 廣嶋 玲子 作 偕成社

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」では、どっしりした大きな体で着物姿に大きく結い上げた白い髪の紅子さんが、ほかとは違う特別な力を秘めた駄菓子売っています。願いをかなえてくれる不思議な駄菓子を手に入れることができるのは、幸運なお客様だけ。銭天堂の駄菓子を食べると、魔法の連続で願いが叶えられていきます。いつしか成長していたり、悪い者は懲らしめられたり、心が晴れ晴れスカッとするお話がいっぱいです。



〈図書館からのおすすめ本〉



「氷菓」 米澤 穂信 著 KADOKAWA

この作品は2001年第5回角川学園小説大賞ヤングミステリー&ホラー部門奨励賞を受賞した米澤穂信さんのデビュー作であり、「古典部」シリーズの第一作です。2012年にアニメが、2017年に実写映画が制作されました。

省エネ主義の折木奉太郎は姉にすすめられて神山高校古典部に入部しました。古典部の仲間へ依頼され、日常に現れる謎を解いていきます。古典部の文集『氷菓』の名に込められた謎は……。